

重春まちづくり協議会

重春まちづくり事業



活動目的

重春まちづくり協議会では、地域の自然や景観を守り、住民が誇りを持てるまちづくりを目指して活動しています。

今年度は、矢筈山の登山道や駐車場の整備を実施します。矢筈山は「ひょうごの景観ビューポイント150選」に選ばれており、市内外から年間25,000人を超える登山者が訪れる重春地区の宝です。安全で快適に登山できるよう維持管理に取り組むことで、健康づくりや地域の魅力発信にもつなげています。

また、西脇市の南玄関口となる板波町では、コスモスの景観づくりを継続します。地域の園児たちを招いて花の鑑賞を行い、地域の自然と触れ合う機会を提供します。小さな交流ですが、地域の憩いの場づくりとして好評を得ています。

今後は「重春地区まちづくり計画」の改定に向けた資料づくりも進めながら、持続的なまちづくりの方向性を検討していきます。

活動内容

- ・景観づくり・・・地区内のコスモス畑の整備
秋に色鮮やかなコスモスたちが畑を彩ります。
- ・矢筈山の整備・・・遊歩道、登山道の整備
岳人会、登山愛好家など、県内外の多くの方が登山に来られます。

今後の展望

矢筈山の整備やコスモスづくりなど、小さな取組を積み重ねることで、地域の魅力を守り育てていきます。これらの経験を活かしながら、「重春地区まちづくり計画」の見直しに備え、住民と一緒に考え行動できる体制づくりを進めていきます。次世代へ誇れるまちを引き継ぐために、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

みなさんへひとこと

矢筈山やコスモス畑の整備は、地域のみなさんの協力があってこそ続けられています。これからも小さな一歩を重ねながら、重春の魅力と一緒に育てていきましょう。

